

## 次期「鎌倉食育推進計画」(案)に対する意見募集の結果について

次期「鎌倉食育推進計画」(案)について、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

市民の皆様からいただきましたご意見と市の考え方を紹介いたします。

- 意見提出実人数：5名
- パブリックコメントは、多様な意見をいただくことが主旨ですので、類似の意見を集約し、「意見概要」としてしています。
- 固有名詞など、表現を変えているところがあります。

	意見概要	市の考え方
食 や 食 育 の 現 状 に つ い て の 意 見	1 食のバランス感覚を養い、朝食の欠食率改善のための教育を行う必要があると思います。	学校等での食教育や行政の各部署で食育の講座を行う中で食のバランス感覚について啓発していきます。また、乳幼児期から後期高齢期に至るすべてのライフステージに合わせて、健康的な生活習慣を確立するための望ましい生活リズムを推進するよう、今後策定する行動計画の中で表すことを検討していきます。
	2 空いている農地を活用するとともに、農業への関心をもってもらうよう広報で作物の作り方を紹介することが必要だと思えます。	市と農業委員会で連携し、農地所有者の意向を確認しながら農地としての活用を図っていきたくと考えています。 また、広報や市ホームページなどに機会を捉えて作物の成育方法等の情報を発信できるよう検討していきます。
	3 朝食や夕食の共食頻度を増やすためにも共食が少ないことの原因を分析して、統計を取る必要があると思えます。	第2期鎌倉食育推進計画では、「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加」を指標とし、国全体の状況と比較するようにしました。
	4 食育とは聞きなれない言葉なので、分かりやすく周知してほしいと思えます。	食への関心と理解を深められるよう、わかりやすい食育を心掛けていきます。 また、必要な情報を入手できるように情報提供を行っていきます。

第 2 期 鎌 倉 食 育 推 進 計 画 (案) に 対 す る 意 見	5	学校給食でアレルギー体質が原因で事故が発生しています。この対策について記述してください。	学校給食における児童のアレルギー対応については、保護者と校長、教頭、担任、養護教諭と栄養士が連携をとり、行っています。学校における食物アレルギー対策については、今後、策定する行動計画の中で表すことを検討していきます。
	6	パン食より、米食に主力を入れていることが分かるように記述してください。	ご意見を参考に、米を中心とした様々な副食から構成される日本型食生活について加筆し、日本の食の伝統や文化を推進していきます。
	7	平成 22 年度の事業仕分けの結果、「食育」に関する事業は推進しないと決定したと思います。 「食育」について自治体レベルで何かを行う必要はないと思います。	平成 22 年度に行われた鎌倉市の事業仕分けにおいて、行政の役割と予算の使い方についての疑義から「事業の廃止」という結論が出されました。 しかし、市での検討の結果、食育事業は市民の身体と心の健康維持増進を図るため必要な事業であることから食育は今後とも推進していくことに決定しました。 今後は、国が定めた第 2 次食育推進基本計画に沿う形で見直しを行い、食に関する取り組みを進めていきます。